



OBARA REPORT

52nd

第52期 報告書

2009年10月1日 → 2010年9月30日

証券コード：6877

OBARA CORP.

この報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

本社 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上 4-2-37
経営企画室 TEL: 0467-76-2000



適切に管理された森林からの原料をきむFSC®認証紙と環境に配慮した植物油インキを使用しています。

新しい技術で、もっと便利な明日へ

Creative technologies contributing to the world

OBARAグループは、抵抗溶接機器と精密研磨装置を主要製品とし、発展する世界経済の中で多様化する顧客ニーズに、蓄積した独自の技術で応えます。抵抗溶接機器は自動車産業、精密研磨装置はエレクトロニクス産業において用いられ、確かな品質とグローバルなネットワークにより、両基幹産業の生産活動を支えています。OBARAグループは、技術の革新を求め続け、新しい「もの作り」を通して社会の発展に貢献したいと考えています。

溶接機器関連事業

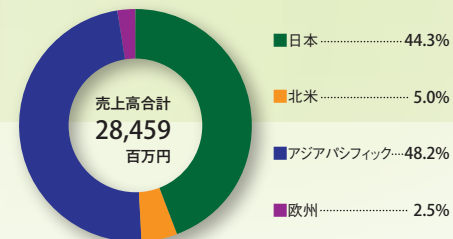
抵抗溶接機器は、薄い金属を高電流と高加圧で接合させるもので、主に自動車ボディの組立工程において活躍しています。OBARAグループは、溶接装置から消耗品までトータルな製品ラインナップを展開します。日本や欧米のほか、中国など長足の経済成長を見せるアジア地域に拠点網を持ち、各国の自動車産業に製品及びサービスを提供しています。

平面研磨装置関連事業

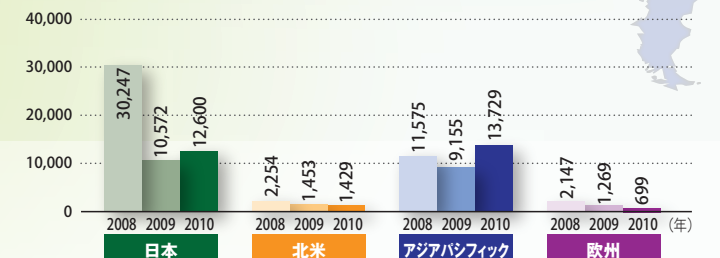
精密研磨装置は、エレクトロニクス材料の基板平坦化に多く用いられます。シリコンウェーハなどの基板に、微細加工に不可欠な基準平面を形成します。OBARAグループが培ってきた、研磨加工・装置製造・消耗副資材に対する統合技術力は、先端産業が抱える困難な技術課題に対し、新しいソリューションを提供し続けています。



所在地別売上高構成比



所在地別売上高推移



※売上高については、外部顧客に対する売上高を記載しております。



代表取締役社長

新田 稔三

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

OBARAグループの第52期の業績概況をご報告するにあたり、一言、ご挨拶申し上げます。

当期においては、景気動向にも緩やかな回復傾向が見られ、当社グループの二大事業につきましてもアジア地域などで事業環境に明るさが見えてまいりました。受注の回復に伴い、工場稼働率も改善するとともに、前期に実施した事業構造改革も功を奏し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初予想を上回る結果となりました。

第53期も引き続き、当社グループ一丸となって企業価値向上に努めてまいります。株主の皆様には、倍旧のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

当期の連結業績および配当について

第52期の業績は、売上高284億円、営業利益22億円、経常利益23億円、当期純利益6億円となり、前期に比べ、大幅な増収増益の決算となりました。

溶接事業では、アジア地域を中心として、お客様である自動車メーカーの生産活動や設備投資が活発化したことに加え、前期に実施した事業構造改革や徹底した合理化施策などが業績回復に寄与しました。

また、研磨事業においても、ハードディスク関連のお客様の設備需要が回復に転じたことや、エレクトロニクス基板メーカーの工場稼働率向上の結果、当社グループの消耗品販売も増加したことなどにより業績が回復に転じました。

当期の利益配分につきましては、当社の配当方針、業績、今後の経営環境および内部留保等の財政状況を総合的に勘案した結果、当初計画の通り、普通配当1株当たり10円(第2四半期末配当10円と合わせ年間20円)とする案を2010年12月24日開催の定時株主総会に付議し、決議いたしました。

2010年度の業績

		(単位：百万円)
売上高	28,459	(26.8%増)
営業利益	2,294	(—)
経常利益	2,379	(—)
当期純利益	699	(—)

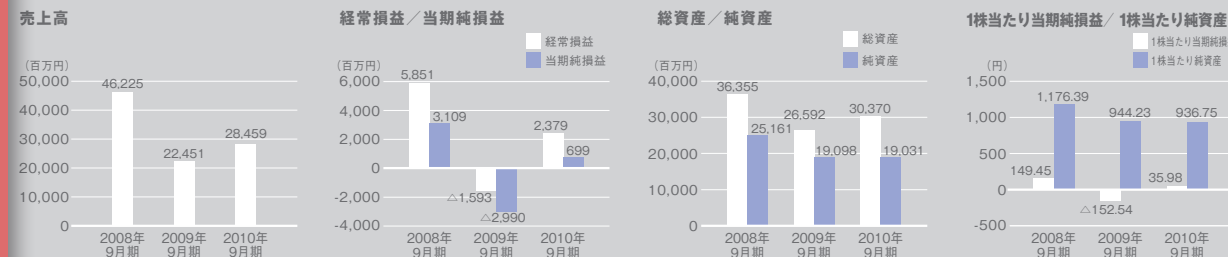
*(%表示は対前期増減率)

次期の見通しについて

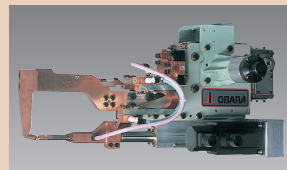
当社グループの主要なお客様である自動車・エレクトロニクス業界は、アジア地域を中心に成長基調が持続するものの、日本を始めとした先進国地域においては、回復の足取りは依然緩やかなものと予想されます。そのため、当社グループの次期業績見通しにつきましては、必ずしも楽観ができない状況にあると考えております。当社グループといたしましては、お客様のニーズにあった製品の販売と成長市場への経営資源の投入を更に推し進めることにより、業績向上に努めてまいり所存です。

次期の連結業績予想につきましては、売上高290億円(前期比5億40百万円増)、経常利益21億円(前期比2億79百万円減)、当期純利益17億円(前期比10億円増)を見込んでおります。なお、為替レートは、1米ドル=80円を前提としております。

連結決算ハイライト



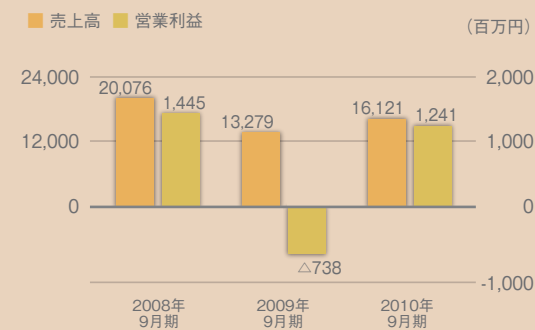
溶接機器関連事業



売上高
16,121 百万円
営業利益
1,241 百万円

溶接機器関連事業につきましては、アジア地域において、取引先である各国自動車メーカーが生産を増加させたことや、設備投資面でも生産ラインの更新や増強を行ったことなどにより、当社グループの業績は売上、利益とも改善しました。

この結果、当事業の売上高は161億21百万円(前期比28億41百万円増)となり、営業利益は12億41百万円(前期は7億38百万円の営業損失)となりました。



(注)：売上高については、外部顧客に対する売上高を記載しております。

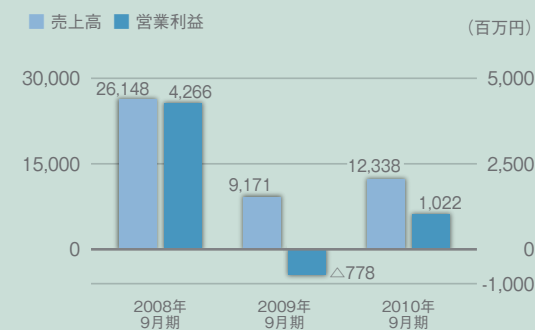
平面研磨装置関連事業



売上高
12,338 百万円
営業利益
1,022 百万円

平面研磨装置関連事業につきましては、取引先であるシリコンウェーハなどの基板メーカーが、エレクトロニクス製品向けの需要回復から生産を増加させたことや、ハードディスク業界において積極的な設備投資が行われたことなどにより、当社グループの業績は売上、利益とも改善しました。

この結果、当事業の売上高は123億38百万円(前期比31億66百万円増)、営業利益は10億22百万円(前期は7億78百万円の営業損失)となりました。



(注)：売上高については、外部顧客に対する売上高を記載しております。

溶接機器 関連事業

豊田営業所の移転について



豊田営業所

業務の迅速・効率化のために進めてまいりました豊田営業所の移転が完了し、2010年5月10日より業務を開始しました。今回の移転に伴い、設備・消耗品の即納とサポート体制を強化しました。今後もお客様のご要望に即座に対応できる体制拡充に努めてまいります。

平面研磨装置 関連事業

米国・シカゴでIMTSに出展



展示会の様子

2010年9月13日～18日に米国のシカゴで開催された工作機械展示会、IMTS (International Manufacturing Technology Show) に出展しました。

IMTSは、1,000社以上の出展と80,000名以上の来場者がある世界最大の工作機械展示会の1つです。当社は、金属・セラミックス・ガラス・半導体など、多様な加工物に対する最新の取組を紹介しました。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2010年9月30日現在)	前期 (2009年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	20,836	16,738
固定資産	9,533	9,853
有形固定資産	7,805	8,091
無形固定資産	273	199
投資その他の資産	1,455	1,563
資産合計	30,370	26,592
負債の部		
流動負債	9,833	6,920
固定負債	1,505	573
負債合計	11,338	7,493
純資産の部		
株主資本	20,398	20,087
資本金	1,925	1,925
資本剰余金	2,373	2,373
利益剰余金	17,176	16,865
自己株式	△1,077	△1,077
評価・換算差額等	△2,196	△1,740
少数株主持分	829	750
純資産合計	19,031	19,098
負債純資産合計	30,370	26,592

財務のポイント

1 資産

新興国を中心とした需要が回復してきたことにより受取手形及び売掛金が28億70百万円、棚卸資産が16億62百万円増加したことなどにより、資産は303億70百万円と、前期末に比べて37億78百万円増加しました。

2 負債

受注が回復に転じていることで支払手形及び買掛金が18億10百万円増加したこと、未払法人税等が3億17百万円増加したこと、その他流動負債が8億93百万円増加したこと、及び、外国子会社配当益金不算入制度の導入を背景とした子会社配当方針の見直しに伴い繰延税金負債が9億8百万円増加したことなどにより、負債は113億38百万円と、前期末に比べて38億45百万円増加しました。

3 純資産

当期純利益を6億99百万円計上したことなどにより利益剰余金が3億10百万円増加した一方、円高により為替換算調整勘定が4億21百万円増加したことなどにより、純資産は190億31百万円と、前期末に比べて66百万円減少しました。

4 自己資本

自己資本は、前期末に比べ1億45百万円減少し、182億2百万円(自己資本比率59.9%)となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2009年10月1日から 2010年9月30日まで)	前期 (2008年10月1日から 2009年9月30日まで)
売上高	28,459	22,451
売上原価	20,449	18,513
売上総利益	8,009	3,937
販売費及び一般管理費	5,715	5,454
営業利益又は損失(△)	2,294	△1,516
営業外収益	264	294
営業外費用	180	371
経常利益又は損失(△)	2,379	△1,593
特別利益	20	191
特別損失	45	1,112
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	2,354	△2,515
法人税、住民税及び事業税	710	514
法人税等還付税額	△39	△428
法人税等調整額	848	259
少数株主利益	136	129
当期純利益又は純損失(△)	699	△2,990

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2009年10月1日から 2010年9月30日まで)	前期 (2008年10月1日から 2009年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,523	1,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28	△1,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△586	△396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128	△452
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	780	△1,098
現金及び現金同等物の期首残高	3,306	4,404
現金及び現金同等物の期末残高	4,086	3,306

連結株主資本等変動計算書(2009年10月1日から2010年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
2009年9月30日残高	1,925	2,373	16,865	△1,077	20,087	111	△1,851	△1,740	750	19,098
当期の変動額										
剰余金の配当			△388		△388					△388
当期純利益			699		699					699
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の当期の変動額(純額)						△34	△421	△455	78	△377
当期の変動額合計	—	0	310	△0	310	△34	△421	△455	78	△66
2010年9月30日残高	1,925	2,373	17,176	△1,077	20,398	76	△2,272	△2,196	829	19,031

(注)金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

会社概要 (2010年9月30日現在)

社名	OBARA株式会社
英文名	OBARA CORPORATION
本社所在地	神奈川県綾瀬市大上4-2-37
設立	1958年12月
資本金	1,925,949,120円
主要な事業内容	溶接機器及び平面研磨装置の製造販売等
従業員数	209名(連結1,530名)
ウェブサイト	http://www.obara-g.com/

役員 (2010年12月24日現在)

代表取締役社長	持田 律三
代表取締役副社長	渡辺 俊明
取締役	小原 康嗣
取締役	春名 真人
取締役	周澤 健
取締役	田中 夏樹
常勤監査役	谷内 博
監査役	大西 倫雄
監査役	村松 建夫

(注) 監査役のうち、大西倫雄及び村松建夫の両氏は、「会社法」第2条第16号に定める社外監査役であります。

事業所 (2010年9月30日現在)

本社	神奈川県綾瀬市大上4-2-37
山梨工場	山梨県笛吹市境川町藤堂4151
豊田営業所	愛知県豊田市御幸町3-52-2
宇都宮営業所	栃木県宇都宮市東宿郷5-7-8
大阪営業所	大阪府池田市神田3-11-14
九州営業所	福岡県北九州市小倉南区朽網西1-9-3

OBARAグループ

■ 溶接機器関連事業

- 韓国小原株式会社
- 小原(南京)機電有限公司
- 小原(上海)有限公司
- OBARA CORPORATION USA
- OBARA (THAILAND) CO., LTD.
- OBARA (MALAYSIA) SDN. BHD.
- OBARA MEXICO,S.DE R.L.DE C.V.
- OBARA INDIA PVT LTD.
- OBARA AUSTRALIA PTY. LTD.
- LLC "OBARA RUS"
- 洋光産業株式会社

■ 平面研磨装置関連事業

- スピードファム株式会社
- スピードファムクリーンシステム株式会社
- スピードファム長野株式会社
- SPEEDFAM INC.
- SPEEDFAM MECHTRONICS (SHANGHAI) LTD.
- SPEEDFAM KOREA LTD.
- SPEEDFAM CORPORATION
- SPEEDFAM NV/SA
- SPEEDFAM (INDIA) PVT LTD.

株式状況 (2010年9月30日現在)

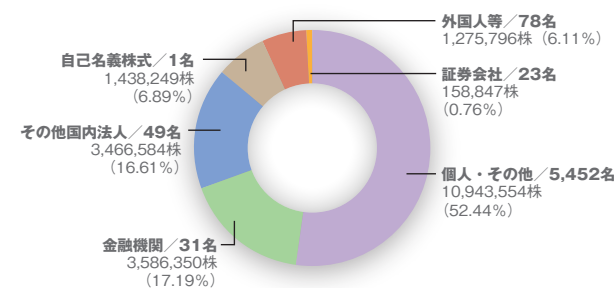
発行可能株式総数	38,000,000株
発行済株式総数	20,869,380株
単元株式数	100株
株主数	5,634名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社馬込興産	3,132	16.1
小原 博	2,263	11.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	961	4.9
小原 康嗣	611	3.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	579	2.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	510	2.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	369	1.9
小原 範子	304	1.5
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	255	1.3
OBARA従業員持株会	229	1.1

(注) 1. 上記のほか、自己株式1,438千株を保有しております。
2. 持株比率は、自己株式1,438千株を控除して計算しております。

株主分布状況



株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年9月30日 期末配当 毎年9月30日 第2四半期末配当 毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 〒105-8574
東京都港区芝3-33-1
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 (郵便物送付先お問い合わせ先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉2-8-4
中央三井信託銀行株式会社
証券代行部
TEL: 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
(受付時間: 平日9:00~17:00)
TEL: 0120-87-2031
(各種書類請求専用フリーダイヤル、自動音声案内)
ウェブサイトURL
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
当社公告につきましては、下記ウェブサイトに掲載いたします。

http://www.obara-g.com/
但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告を行なうことができない場合は、日本経済新聞に公告を掲載いたします。